

第7章 復旧・復興事業による整備効果事例集

県ではこれまで災害に強いまちづくりを目指し、復旧・復興事業に鋭意取り組んできた。

本章ではそれらの整備（ストック）効果を「安全・安心」、「経済」、「環境・暮らし」としてカテゴライズし、代表的な事例についてまとめたので紹介したい。

安全・安心

相馬互理線	多重防御で街の安全・安心を確保	・・・	1
国道398号	高台の住居と街をつなぐ道路	・・・	2
鹿妻地区	住民の暮らしを守る砂防施設	・・・	3
門脇流留線	道路整備で海浜地域の活性化	・・・	4
玉浦西地区	集団移転で新たな街づくり	・・・	5
仙台港漂流物対策	背後地の早期復旧を支える	・・・	6
陸間自動化・遠隔化	自動化で安全かつ迅速、確実に	・・・	7

経済

みやぎ県北高速幹線道路	道路網整備で県北地域の活性化	・・・	8
大島浪板線(気仙沼大島大橋)	災害における住民の孤立が解消	・・・	9
岩沼蔵王線	道路整備で県南のアクセス改善	・・・	10
国道398号(石巻バイパスⅡ期)	石巻女川間のアクセス向上	・・・	11
仙台港(雷神ふ頭)	東北の完成自動車の輸送拠点へ	・・・	12
仙台港(高砂ふ頭)	東北の国際物流拠点	・・・	13
石巻港(雲雀野地区)	石巻地域の発展を支える港湾整備	・・・	14

環境・暮らし

七北田川整備事業	堤防整備で干潟の保全	・・・	15
八幡川整備事業	護岸整備で新たな街のシンボルに	・・・	16
中島地区海岸・津谷川	生物多様性につながる環境づくり	・・・	17
石巻南浜津波復興祈念公園	復興の象徴となる「復興祈念公園」	・・・	18
岩沼・矢本海浜緑地	地元の活力になる都市公園	・・・	19
災害公営住宅 (石巻市・多賀城市・南三陸町)	住みやすい公営住宅を提供	・・・	20

ストック効果事例
安全・安心
山元町

多重防御で街の安全・安心を確保



01 相馬亙理線 (道路事業)

効果

- ・ 盛土構造の道路にすることで、防潮堤等と一体となって津波の多重防御
- ・ 背後地の被害軽減や安全な交通の確保に寄与



東日本大震災では、盛土構造の仙台東部道路が津波被害の軽減に貢献しました。相馬亙理線の用地に旧JR常磐線の跡地を活用することで、周辺環境等への影響が抑えられています。

○多重防御とは防潮堤の背後に盛土道路を整備して、津波エネルギーを減勢する方法です。

背後地の山元町では、名産のイチゴを中心に賑わいが生まれています。

出典 山元町HP

平成31年(2019)年2月に農水産直売所「やまもと夢いちごの郷」がオープンし、2年間での累計入場者数は110万人を突破しました。

山元町の観光客数は令和元(2019)年に前年比約330%になり、にぎわいが生まれています。

担当課から一言



盛土構造の道路で津波被害への多重防御機能を有する相馬亙理線(坂元工区・山寺工区)が令和3年(2021)年3月に全線開通しました。相馬亙理線は、津波の減災効果だけでなく、大規模災害時には、避難路・救出路になるなど命の道としての活躍も期待されています。

第1章 「災害に強い
まちづくり宮城
モデル」の構築

第2章 安全安心な
「まちづくり」

第3章 「災害に強い
「道路」・「港湾」・
「空港」等

第4章 早期復旧と復興の
加速化に向けた
取組

第5章 震災教訓の伝承
「311」伝承・減災
プロジェクト

第6章 復旧・復興事業に
よる課題

第7章 復旧・復興事業に
よる整備効果
事例集

ストック効果事例

安全・安心

南三陸町



高台の住居と街をつなぐ道路



02 国道398号 (道路事業)

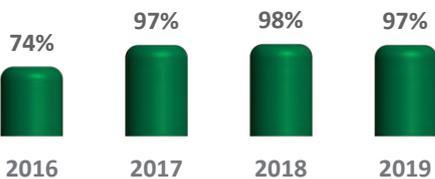
効果

- ・ 住居の高台移転で安全な暮らしを実現
- ・ 高台と職場のある平地のアクセス道路整備で快適な暮らしをサポート



国道398号が高台に住む住民の生活を支えています。

志津川東地区災害公営住宅入居率



高台移転で住居の安全が確保できます。また、平地にある産業エリアから内陸に3km以内に三陸道のICがあるので、住居から安全に避難できます。



担当課から一言

リアス式海岸である三陸地域では、津波対策として住宅の高台移転が進んでいます。志津川地区の国道398号が平成29(2017)年に開通し、住宅のある高台と産業エリアの平地を結ぶアクセス道路として住民の生活を支えています。

ストック効果事例
安全・安心
石巻市

住民の暮らしを守る急傾斜施設



03 かづま 鹿妻地区（急傾斜対策）

効果

- ・ 急傾斜の危険エリアの斜面崩落を防止
- ・ 近隣住民の生活や住宅を保護し、街の発展に貢献



地震による斜面崩落で住宅が被害を受けました。



崖が近く、ハザードエリアに指定されている場所に急傾斜対策を行い、安心して住めるようになりました。



担当課から一言

東日本大震災の影響で岩塊が付近の住宅に崩落し被害を与えました。上の写真のように、斜面の崩落対策を実施し、安心して住めるようになりました。また、住宅の周辺には商業施設ができるなど地区の発展につながっています。

第1章 「災害に強い
まちづくり宮城
モデル」の構築

第2章 「安全安心な
まちづくり」

第3章 「災害に強い
「道路・港湾」等
「空港」等

第4章 「早期復旧と復興の
加速化に向けた
取組

第5章 「震災教訓の伝承
プロジェクト
3」伝承・減災

第6章 「復旧・復興事業に
よる課題

第7章 「復旧・復興事業に
よる整備効果
事例集

ストック効果事例
安全・安心
石巻市

道路整備で沿岸地域の活性化



かどのわきながるせん 04 門脇流留線 (都市計画事業)

- 効果**
- ・ 盛土構造の道路で津波の減衰効果が発現され、緊急時の避難路として機能
 - ・ 道路沿線には、企業が集積しており、物流道路としての活用も期待



多重防御とは、防潮堤の背後に、二線堤として盛土道路や鉄道が津波を減衰する方法です。

幅員を広く取ることで、避難路としても機能します。

土地区画整理事業により、4つの地区に合計161社が集積しました。企業立地に伴い地元雇用が生まれています。



担当課から一言

石巻市釜・大街道地区と湊・魚町地区を結ぶ門脇流留線を整備しました。堤防と道路の多重防御で減災効果が発現され、避難路としての機能が期待されます。また、道路沿線には多数の企業が立地しており、物流道路としても活用されるため、地域の発展が見込まれます。

ストック効果事例
安全・安心
岩沼市

集団移転で新たな街づくり



05 たまうらにし 玉浦西地区 (防災集団移転促進事業)

効果

- ・ 防災集団移転で安全な暮らしを提供
- ・ 移転先に商業施設が開業するなど新たな賑わいが発生



担当課から一言



防災集団移転促進事業が実施され、整然とした住宅街を整備しました。安全なエリアへ移転したので安心して生活が送れます。また、移転先でコミュニティーが形成され、新たな交流が生まれています。

第1章 「災害に強い
まちづくり宮城
モデル」の構築

第2章 「安全安心な
まちづくり」

第3章 「災害に強い
「道路」・「港湾」・
「空港」等

第4章 「早期復旧と復興の
加速化に向けた
取組

第5章 「震災教訓の伝承
プロジェクト」

第6章 「復旧・復興事業に
よる課題

第7章 「復旧・復興事業に
よる整備効果
事例集

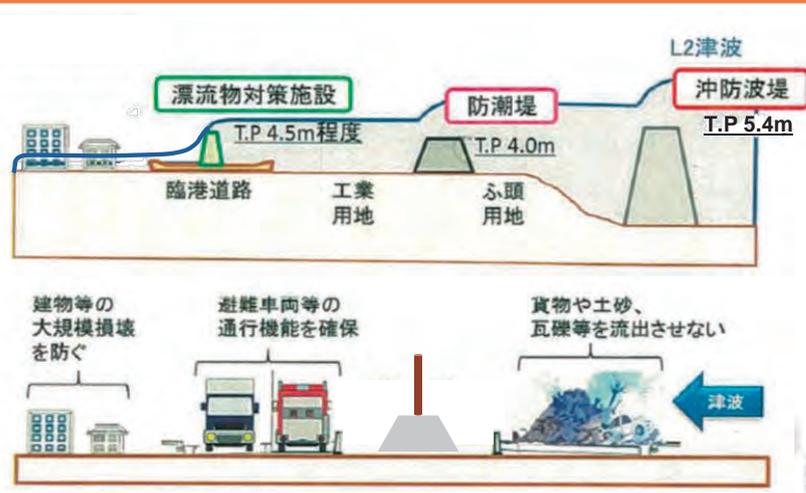
ストック効果事例
安全・安心
仙台市

港湾背後地の早期復旧を支える



06 仙台港漂流物対策（港湾事業）

- 効果**
- ・ 背後の街を津波漂流物から防護し、二次被害を軽減
 - ・ 緊急輸送道路の確保と港湾機能の早期回復に寄与



震災では、津波に流された自動車やコンテナが道路を塞ぎ、緊急支援物資輸送などに影響を与えました。漂流物対策として、港湾を取り囲むように臨港道路の中央分離帯に防護柵を設置することで、海側からの漂流物をせき止め、内陸側の道路や住居を防護します。

担当課から一言

東日本大震災では、完成自動車やコンテナが航路や臨港道路に流出し、啓開作業が完了するまで緊急支援物資などの輸送が大きく滞りました。漂流物防護施設が海側からの漂流物をせき止めることで緊急輸送道路や避難路の確保と港湾機能の早期回復につながります。

ストック効果事例

安全・安心

気仙沼市 石巻市
女川町 塩竈市
七ヶ浜町
仙台市

自動化で安全かつ迅速、確実に



りっこう 07 陸閘自動化・遠隔化（七ヶ浜町）（港湾事業）

効果

- ・ 陸閘の閉鎖に向かった人が被害に遭われたことを教訓に、閉門を自動化
- ・ 自動化することで、安全かつ迅速に陸閘・水門の閉鎖が可能に



従来の水門・陸閘の閉鎖



宮城県水門・陸閘自動閉鎖システム

陸閘を閉めに向かった人の命が失われました。

自動化することで、安全かつ迅速、確実に閉鎖できます。



担当課から一言

どこかの回線で障害が発生しても通信可能です

県が管理する212の陸閘・水門の自動閉鎖システムを整備します。津波注意報が発令されると、自動閉鎖が開始されます。周知時間の後、陸閘は概ね5分以内で自動閉鎖が完了します。自動閉鎖に向けて情報システムや電源を冗長化することで信頼性を確保しています。

東日本大震災において、陸閘の閉鎖作業をしていた人が命を落としたことを教訓として、**水門・陸閘自動閉鎖システムを整備しました**。閉鎖を自動化することで人命保護はもちろん、安全かつ迅速、確実に閉鎖が可能になります。

ストック効果事例

経済
登米市

道路網整備で県北地域の活性化

登米市



08 みやぎ県北高速幹線道路（道路事業）

- 効果
- ・道路開通によって沿線の企業数が増加
 - ・道路網整備で県北地域のアクセス性が向上し、観光客が増加

道路の開通効果

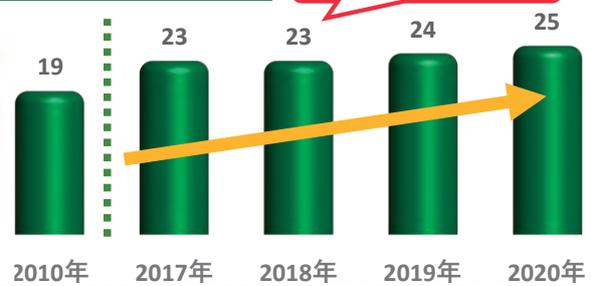


県北地域が高規格道路で結ばれます。開通に伴い、救急搬送の時間短縮などが期待されます。

担当課から一言

登米市企業立地数

震災前よりも増加！



登米市観光客数（万人）

観光客数も増加！



東北道と三陸道とを結ぶ、みやぎ県北高速幹線道路の開通で、高規格道路へのアクセスが飛躍的に向上します。また、インターチェンジ周辺には企業が立地しています。さらに、登米市の観光客数も増加するなどみやぎ県北高速幹線道路を軸に県北地域が今後も発展していきます。

第1章 まちづくり宮城「モデル」の構築

第2章 安全安心な「まちづくり」

第3章 「空港」等

第4章 早期復旧と復興の加速化に向けた取組

第5章 「3.11」伝承・減災プロジェクト

第6章 復興・復興事業による課題

第7章 復興・復興事業による整備効果事例集

ストック効果事例

経済

気仙沼市

災害時における住民の孤立が解消



気仙沼市



09 大島浪板線（気仙沼大島大橋）

効果

- ・ 道路開通によって、住民の孤立がなくなり、復興のシンボルに
- ・ 所要時間短縮で、大島の観光客が7倍に増加

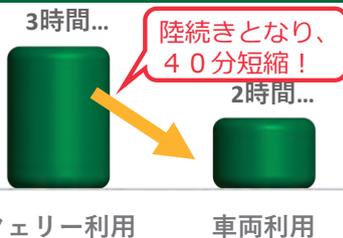


大島架橋事業は、震災直後大島の住民が長期に渡り孤立を余儀なくされたため、復興事業として位置づけられました。船を使わずに本土側に渡ることができる、まさに命の橋となる大きな意味合いを持っています。

龍舞崎からの眺望や、小田の浜（環境省選定快水浴場百選、全国2位）などの優れた自然景観を満喫。



大島～仙台間の所要時間



担当課から一言

気仙沼市大島観光客数（千人）



気仙沼大島大橋の開通によって、住民の孤立がなくなり、自由に往来できるようになりました。有事の際には住民にとって命の橋となります。また、大橋は、復興のシンボルとして、住民の希望となるだけでなく、大島の観光客数増加にも貢献しています。

第1章 まちづくり宮城
「災害に強いモデル」の構築

第2章 安全安心な「まちづくり」

第3章 「道路」「港湾」「空港」等
「災害に強い」

第4章 早期復旧と復興の取組
加速化に向けた

第5章 「3」伝承・減災プロジェクト
震災教訓の伝承

第6章 復旧・復興事業による課題

第7章 復旧・復興事業による整備効果事例集

ストック効果事例

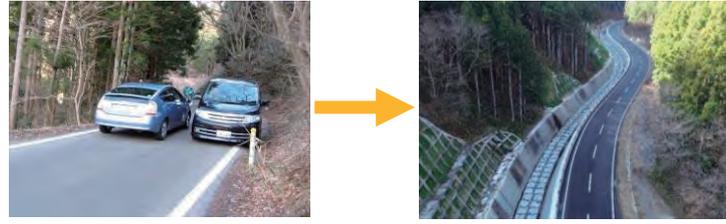
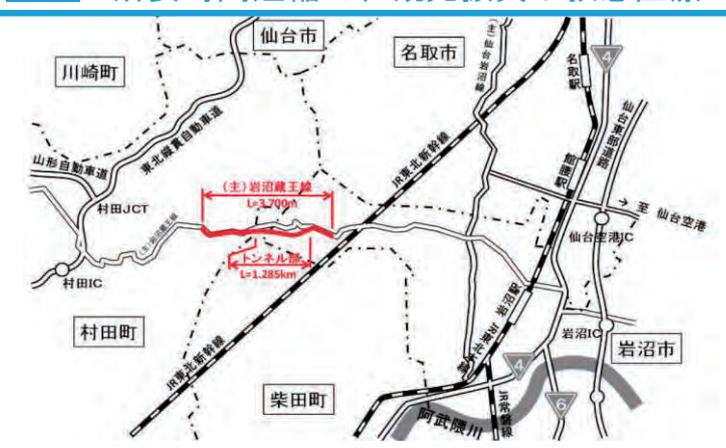
経済
岩沼市
村田町

道路整備で県南のアクセス改善



10 岩沼蔵王線（道路事業）

- 効果**
- ・トンネル開通と車線の拡幅で、狭い道から安心して走れる道に
 - ・所要時間短縮で、観光振興や救急医療に貢献

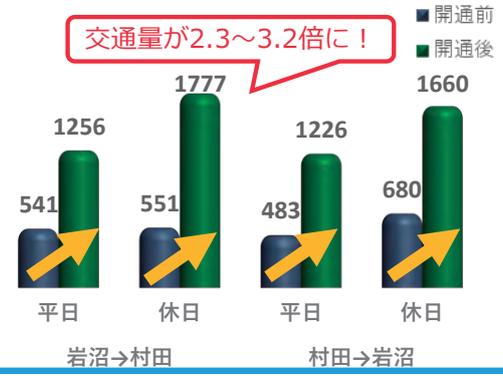


担当課から一言 狭隘な道路が走りやすい道路になりました。

供用区間の所要時間



開通前後の周辺交通量



東北道と仙台空港・仙台東部道路を結ぶ、岩沼蔵王線のトンネル整備と道路の拡幅を行い、令和元(2019)年12月に開通しました。新線開通によって、走行時間が短縮され、安心して走行できるので、通勤や通学だけでなく、救急輸送や観光のアクセス道路として期待されています。

ストック効果事例

経済

石巻市

女川町

石巻女川間のアクセス向上



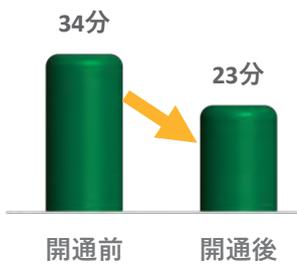
11 国道398号（石巻バイパスⅡ期）（道路事業）

効果

- ・ 道路開通によって、石巻赤十字病院までの所要時間が短縮
- ・ 道路の選択肢が増えることで、市街地エリアの渋滞も改善



供用区間の所要時間



女川港から三陸道まで市街地を回避することで11分短縮されます！

石巻バイパスが、赤十字病院への搬送に活用されています。道路の幅員が広いのでスムーズに走行でき、女川方面からの時間が短縮されます。円滑な交通で救急医療をサポートしています。また、女川漁港からの所要時間も短縮されるので、より新鮮な魚介類を届けることができます。

担当課から一言

石巻バイパスの整備によって、女川から石巻女川ICに石巻市街地を抜ける必要がなくなりました。それに伴い、石巻赤十字病院までの搬送時間も短縮されます。また、道路の選択肢が増えるため、市街地エリアの渋滞改善も期待され、**有事の際には避難路として活躍します。**

第1章 まちづくり宮城「モデル」の構築

第2章 安全安心な「まちづくり」

第3章 「道路・港湾」等

第4章 早期復旧と復興の加速化に向けた取組

第5章 「伝承・減災プロジェクト」

第6章 復旧・復興事業による課題

第7章 復旧・復興事業による整備効果事例集

ストック効果事例

経済
仙台市

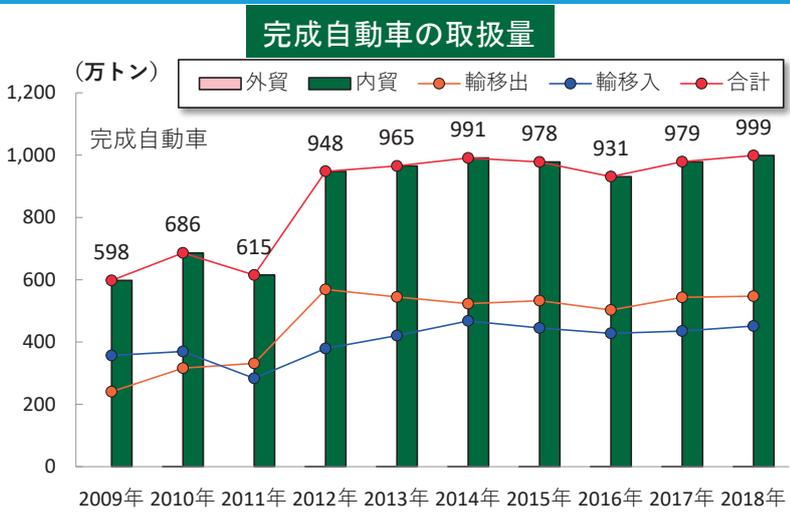


東北の完成自動車の輸送拠点へ



12 仙台港（雷神ふ頭）（港湾事業）

- 効果**
- ・急速に進む東北への自動車関連産業の集積に対応
 - ・自動車運搬船の大型化に対応し、完成自動車の輸送効率化に寄与



宮城県内の企業立地数

企業立地数 424件
(H18.1~R1.12)

雇用創出数 18,677名
(H21.4~R2.3)

最近の立地状況(H31.1~)

- ・(株)ニッケ機械製作所 (機械製造関連) 登米市
- ・(株)牧野精工 (機械製造関連) 登米市
- ・スターゼン(株) (食品関連) 多賀城市
- ・(株)ケーヒン (自動車関連) 村田町
- ・(株)イズミテクノ (高度電子機械関連) 大衡村
- ・(株)旭洋工業製作所 (自動車関連) 登米市
- ・(株)豊田合成東日本 (自動車関連) 大衡村

県内に自動車関連工場の立地が進んだ結果、仙台港では完成自動車の取扱貨物量が増加しています。雷神ふ頭には、RORO船や自動車運搬船が毎日寄港しており、本県に立地する多くの企業にご利用いただいております。

担当課から一言

完成自動車の輸送拠点として、岸壁の増深(-9m)やモータープールを整備し、急速な東北への自動車産業の集積に対応します。港湾の整備によって、県の産業がますます発展していきます。

ストック効果事例

経済

仙台市

東北の国際物流拠点



13 たかさご 仙台港（高砂ふ頭）（港湾事業）

効果

- ・ 東北唯一の国際拠点港湾として、東北全体のコンテナ貨物量の約6割を担う
- ・ 港湾周辺に多数の企業が立地し、宮城県のみならず東北地域の発展に貢献



高砂コンテナターミナルでは、東北全体のコンテナ取扱貨物量の約6割を担っています。混雑解消と物流の効率化、将来の貨物量増加を見据え、施設再編と新たな岸壁整備とふ頭用地拡張を実施しています。仙台港に隣接する蒲生北部地区では、港や高速道路のICに近い立地を活かし、企業立地が進んでいます。（R4.3事業完了）

担当各課から一言

仙台港は、高速道路のICに近い立地を活かし、県内各地の工業団地と利便性の高い物流ネットワークを構築しており、**東北のコンテナ貨物量の約6割を担っています**。高砂コンテナターミナルの岸壁整備やふ頭拡張によって、更なる物流機能の強化が期待されます。

第1章 「災害に強いまちづくり」宮城モデル」の構築

第2章 「安全安心なまちづくり」

第3章 「災害に強い「空港」「港」等

第4章 早期復旧と復興の加速化に向けた取組

第5章 「震災教訓の伝承プロジェクト」

第6章 復旧・復興事業による課題

第7章 復旧・復興事業による整備効果事例集

ストック効果事例

経済
石巻市

石巻地域の発展を支える港湾整備



14 石巻港（雲雀野地区）（港湾事業）

- 効果**
- ・岸壁や工業用地の造成によって、港湾背後に工場立地を促進
 - ・クルーズ船の寄港地として、にぎわい創出や交流人口拡大に寄与



近年、宮城県へのクルーズ寄港需要は増加傾向で石巻港には大型の外航クルーズ船が寄港しています！
製紙工場や飼肥料工場などが多数立地し、東北の供給拠点になっています。近年は新たにバイオマス発電所が立地しました。



担当課から一言

雲雀野地区は、大型貨物船対応の岸壁整備や背後地の造成によって、紙・パルプや飼料の供給拠点になっています。さらに、バイオマス発電所などの新規立地も進んでいます。また、クルーズ船の寄港地として、**石巻の発展や交流人口拡大に寄与しています。**

ストック効果事例
環境・暮らし
仙台市

堤防整備で干潟の保全



ななきたがわ 15 七北田川整備事業（河川事業）

効果

- ・ 震災で被害を受けた蒲生干潟を復旧し、天然記念物のコクガンをはじめ多くの生物が生息



コクガンの写真



蒲生干潟

堤防と護岸を内陸側にセットバックすることで蒲生干潟の消失を防ぎました。

蒲生干潟には、天然記念物のコクガンやコアジサシなどの越冬・繁殖が確認されています。蒲生干潟はコクガンの越冬地の南限・コアジサシの繁殖地の北限として生物にとって重要な場所になっています。

担当課から一言

震災で被害を受けた七北田川の築堤を行いました。堤防位置をセットバックすることで、現在では、蒲生干潟も復旧し、コクガンの越冬や、震災前には見られなかったコアジサシの生殖が確認されるなど、多くの生物が生息しています。

第1章 「災害に強いまちづくり宮城モデル」の構築

第2章 「安全安心なまちづくり」

第3章 「災害に強い「空港」等

第4章 「早期復旧と復興の加速化に向けた取組

第5章 「震災教訓の伝承プロジェクト

第6章 「復旧・復興事業による課題

第7章 「復旧・復興事業による整備効果事例集

ストック効果事例
環境・暮らし
南三陸町



護岸整備で新たな街のシンボルに



はちまんがわ 16 八幡川整備事業（河川事業）

- 効果
- ・南三陸さんさん商店街が街のシンボルになり、南三陸町の観光客が過去最多
 - ・新たな観光拠点を支えるインフラ施設

八幡川整備範囲



南三陸海岸観光客数（万人）



担当課から一言

出典 地理院地図

発生頻度の高い津波（L1津波）に耐えられる防潮堤と河川の護岸を整備しました。親水空間を整備したことで、住民の生活が快適になりました。護岸に隣接する南三陸さんさん商店街は人気を集め、平成30（2018）年に、南三陸地域の観光客数は過去最高を記録しました。

ストック効果事例
環境・暮らし
気仙沼市

生物多様性につながる環境づくり

気仙沼市



17 中島地区海岸・津谷川 (海岸事業)

効果

- ・ 護岸整備後も海岸へらくらくアクセス
- ・ 津谷川の生物環境を保全し、住みよい環境づくり



環境に配慮して整備された津谷川は、小学生の環境教育の場になっています。



津波で被害を受けた堤防をセットバックして海が近くなりました。堤防付近に駐車場を整備することで、簡単に海岸へアクセスできます。



小学生の声
色んな生物がいてびっくりした！

担当課から一言

津波で被害を受けた中島地区海岸と津谷川の堤防を整備しました。津谷川では、生物環境が保全され、環境教育が行われています。堤防を整備する際に海岸へのアクセスも考慮したので、以前のような賑わいが期待されます。

第1章 「災害に強い
まちづくり宮城
モデル」の構築

第2章 「安全安心な
まちづくり」

第3章 「災害に強い
「道路」・「港湾」・
「空港」等

第4章 「早期復旧と復興の
加速化に向けた
取組

第5章 「震災教訓の伝承
プロジェクト」

第6章 「復旧・復興事業に
よる課題

第7章 「復旧・復興事業に
よる整備効果
事例集

ストック効果事例
環境・暮らし
石巻市

復興の象徴となる「復興祈念公園」



18 石巻南浜津波復興祈念公園 (都市計画事業)

- 効果**
- ・ 震災の犠牲者への追悼と鎮魂の場として整備
 - ・ 復興への強い思いや教訓を国内外に向けて発信

みやぎ東日本大震災津波伝承館の展示コンセプト
かけがえのない命を守るために、未来へと記憶を届ける場

① つなぐ記憶
津波の歴史や震災前後の記憶を通して、被災の大きさを伝える。

② 東日本大震災を知る
東日本大震災の概要と県内被害を伝える。

③ シアター「くり返さないために」
科学的視点とリアルな映像で津波の恐ろしさを伝える。

④ 津波から命を守る
津波の歴史や津波のメカニズムを紹介するほか、被災時の人々の証言等を紹介する。

⑤ ともにつくる復興
震災を経て生まれた、まちを元気にし、立ち上がらせる取組や施設、団体を映像で紹介する。

⑥ 「語り部」からのメッセージ
県内各地の語り部活動の様子を映像で紹介する。

⑦ 一人ひとりの記憶
震災当時から現在に至るまでの様々な立場・視点の証言を映像で紹介する。

★東日本大震災・緊急対応の記録
【制作：国土交通省 東北地方整備局】

★震災以降の緊急対応の記録と被災物を遺して津波の脅威を伝える、被害する自然災害への備えについて考えるきっかけを提示します。

★3.11伝承ロード
【制作：国土交通省 東北地方整備局】

東日本大震災の東情と教訓を学ぶことが出来る「震災伝承施設」を紹介いたします。



みやぎ東日本大震災津波伝承館



祈りの場

震災の犠牲者への追悼と鎮魂や、日本の再生に向けた復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すことなどを目的に復興祈念公園を整備しました。

担当課から一言

犠牲者への追悼と鎮魂の場及び多様な主体の参画・協働の場とした復興祈念公園を整備しました。被災の実情と教訓を後世に伝承するとともに、**復興の象徴の場としてメッセージを国内外に発信していきます。**

ストック効果事例
環境・暮らし
岩沼市
東松島市

地元の活力になる都市公園



矢本海浜緑地

19 岩沼及び矢本海浜緑地（都市計画事業）

- 効果**
- ・ 子供の健全な育成や運動・レクリエーションなどを通じた健康増進に寄与
 - ・ 築山などの整備により、利用者の安全・安心を確保

築山などの防災機能を備えた公園を整備しました。



岩沼海浜緑地

多くの方が公園を利用し、にぎわっています。



岩沼海浜緑地

公園は、子供の健全な育成や運動・レクリエーションの場として、心身の健康増進などをもたらす効果があります。



担当課から一言



矢本海浜緑地

震災により甚大な被害を受けた岩沼・矢本海浜緑地について、施設の復旧と併せて、公園利用者の安全・安心を確保するための築山など防災機能を備えた公園として整備しました。県民の憩い・やすらぎの場などとして、多くの方々に親しまれています。

第1章 「災害に強いモデル」の構築

第2章 「安全安心なまちづくり」

第3章 「災害に強い道路・港湾」等

第4章 早期復旧と復興の加速化に向けた取組

第5章 「震災教訓の伝承プロジェクト」

第6章 復旧・復興事業による課題

第7章 復旧・復興事業による整備効果事例集

ストック効果事例

環境・暮らし

石巻市
多賀城市
南三陸町

住みやすい公営住宅を提供



南三陸町志津川東地区

20 災害公営住宅（石巻市・多賀城市・南三陸町）

効果 ・交流施設などによるコミュニティの創出や、屋上避難などの防災機能を通じて、住民に住みよい暮らしを提供



石巻市吉野町地区

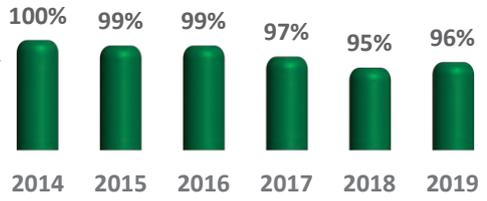
屋上に一時避難スペースを確保



南三陸福祉モール みんな食堂

屋上に緊急時の避難場所を整備しました。地域住民も避難できるので安心です。また、公営住宅に隣接して、ささえあいの拠点（結の里）を設けることで新しい交流が生まれています。

多賀城市桜木地区入居率



住居率が90%以上と、多くの方が入居されています。



多賀城市桜木地区

住民が見やすい位置への標識設置

担当課から一言



住民の声

災害公営住宅に住めるおかげで安心して暮らせる。周囲になじめるか不安だったが、集会所などを通じて交流できてよかった。

交流施設などの設置による**コミュニティの確保**や津波避難ビルの指定などによる**防災機能の強化**を意識して災害公営住宅を整備しました。震災で住宅をなくした人に、安心して暮らせる家を提供しています。